

## 平成27年度岩手県総合防災訓練の実施について

### 【要旨】

- 平成27年度の岩手県総合防災訓練は、7月12日(日)に奥州市、金ケ崎町及び奥州金ケ崎行政事務組合消防本部との共催により実施します。

### 1 目的

本訓練は、下記事項を重点に、「減災」の考えのもと、「自助」、「共助」、「公助」のそれぞれの災害対応力の向上を図ることを目的として実施する。

#### 【平成27年度における訓練の重点】

- 地域住民等に対する防災知識の普及啓発及び防災意識の高揚
- 参加者・防災関係機関における的確な対応の習得
- 災害現場における防災関係機関の連携強化

### 2 実施日時

平成27年7月12日(日) 7時~12時30分

### 3 訓練場所

県庁及び各市町庁舎、奥州市江刺区各地区センター、金ケ崎町三ヶ尻地区及び街地区センター、岩谷堂小学校、江刺第一中学校、三ヶ尻小学校、その他奥州市・金ケ崎町各訓練地域等

### 4 主催

岩手県、奥州市、金ケ崎町、奥州金ケ崎行政事務組合消防本部

### 5 訓練参加者

103機関 約10,000人

### 6 災害想定

大雨による洪水と、その後発生した地震により被災地域が拡大するという複合災害を想定。

### 7 訓練の概要

訓練は、

- ①災害発生日の防災対策、応急対策
- ②災害発生翌日以降の防災対策・応急対策

の2フェーズを設定し74項目を実施。(2日間にわたるフェーズを設定するが訓練は1日で実施)各フェーズに応じた主な訓練は参考①のとおり。

※ 裏面があります。

【参考①：各フェーズに応じた主な訓練】

フェーズ		主な訓練項目 (※○印は今回新たに実施する訓練項目)	実施場所
(1) 災害発生日の 防災対策、応急対策	7月12日(日) 7:00～10:30	【防災対策・避難等】 災害対策本部運営訓練、避難訓練、○シェイクアウト訓練 【避難所運営】 避難所開設・運営訓練、○ペット同行避難所受入れ訓練、応急食料炊出し訓練 【防災知識の普及啓発・防災意識の高揚】 学校・家庭・地域が連携した防災学習及び防災訓練 【関係機関の対処・連携強化】 ○地域災害医療連絡会議（災害医療コーディネート体制）設置・運営訓練、救出救助訓練、遺体処置訓練	県庁、奥州市、金ケ崎町（一部市町のみで実施される訓練もあること）
(2) 災害発生翌日以降の防災対策、 応急対策	7月12日(日) 10:30～12:00	【関係機関の対処・連携強化】 孤立地域救出救助訓練、○生活再建支援業務訓練	

【参考②：今年度の防災訓練項目の特徴】

1 災害想定に則した主な訓練

訓練項目	訓練概要
シェイクアウト訓練	地震の発生に伴い自ら身を守る動作を行う。
救出救助訓練	大雨により地盤がゆるんだ斜面において、地震発生に伴い土砂崩れが発生し、道路を走行中のバスが巻き込まれ乗客乗員が多数負傷したため、救出、救助及び救護活動を行う。
孤立者救出救助訓練（孤立地域医療関係者派遣訓練）	大雨により水位が高くなっている堤防が地震により亀裂を生じ一部に決壊が生じ孤立地域が発生したため、医療サポートのため医療関係者をヘリで派遣する。
倒壊建物救出訓練	地震により、建物が倒壊したことから、関係機関が連携し、救出活動を行う。
土のう積上げ訓練	大雨や地震の発生に伴う土石流災害を防ぐため、土のうを作成し積上げる。

2 災害対策基本法の改正に伴う訓練

訓練項目	訓練概要
放置車両除去訓練	緊急車両の通行のため、避難時に放置された車両を移動する。 ※ 災害時に自治体が公道から車を強制撤去できるようにした法改正に伴うもの

3 新たな制度や取組に対応した訓練

訓練項目	訓練概要
地域災害医療連絡会議（災害医療コーディネート体制）設置・運営訓練	医療機関の被害状況、災害医療情報を把握し、各病院、消防等との連携を図る。
広域防災拠点運営訓練	広域防災拠点に備蓄している備蓄品を避難所に提供する。
生活再建支援業務訓練	被災者台帳システムを使用し、建物被害認定調査及び罹災証明書発行手続きを行う。
ペット同行避難所受入れ訓練	避難所において、ペット同行避難受付所を開設し、ケージ等への誘導を行う。

【担当 総合防災室 會川防災危機管理監（内線 5162）、及川主任（内線 5153）】